

平成 30 年度 第 1 回図書館協議会 会議録（要旨）

- 日 時： 平成 30 年 7 月 20 日（金）午前 9 時 30 分～11 時分
- 会 場： 燕市役所 3 階 会議室 301
- 出席委員： 伊藤委員、井部委員、池田委員、石山委員、加藤委員、近藤委員、
澤田委員、高頭委員、田中委員、柳原委員
- 欠席委員： なし
- 事務局： 燕市教育委員会 仲野教育長、山田教育次長、更科社会教育課長
本田社会教育課長補佐、古澤副参事（生涯学習推進係長）、浅野主任
指定管理者 岸本館長、菊埼統括マネージャー
宗村業務責任者（燕市立図書館）、佐藤業務責任者（燕市立吉田図書館）
野島業務責任者（燕市立分水図書館）
- 報道機関： なし
- 傍聴者： なし
- 議 題：

報告

- (1)平成 29 年度図書館利用状況について……………資料 2
- (2)平成 29 年度図書館事業実施状況について……………資料 3
- (3)平成 30 年度図書館事業計画について……………資料 4
- (4)燕市立図書館の空調設備等改修工事について……………資料 5

協議

- (1) 燕市子ども読書活動推進計画の進捗状況について……………資料 6

[以下、会議録(要旨)]

報告

- (1) 平成 29 年度図書館利用状況について

《事務局説明》

○委員

吉田図書館の除籍冊数が他の図書館と比較して突出しているのはなぜか。

○事務局

燕図書館だと燕地区の公民館の蔵書に切り替えるものもあるので、除籍冊数が抑えられているが、吉田は公民館の数が燕に比べて少ないので、そういった関係から除籍冊数が多くなっている。

(2) 平成 29 年度図書館事業実施状況について

《事務局説明》

○委員

ブックバスは、以前年に 2 回だったと思うが、1 回になったのはなぜか。

また、1 回減った代わりに行っている読み聞かせ事業はあるのか。

○事務局

ブックバスは、以前は、1 保育園に対し年間 2 回行っていたが、バスの都合と各園の希望の調整が困難なこともあり、現在では年間 1 回となっている。

また、直接的にブックバスの代わりという訳ではないが、各図書館において定例のお話し会を開催しているので、保護者の方々と参加していただきたいと考えている。

○委員

読み聞かせ事業の日程は、他の行事と調整し決定する必要があると思うが、そのようなことはどの程度しているのか。

○事務局

学校や保育園の行事日程を確認し、できる限り重複しないように配慮している。

(3) 平成 30 年度図書館事業計画について

《事務局説明》

○委員

3 ページで「本のワークショップ」でブックコートのかけ方の紹介等とある。

保育園では、人気の本ほど傷みやすく、その修繕を職員が他の業務の合間に行うので、セロテープで簡単にとめてしまうような修繕になっている。園の職員は、修繕を教えてもらう機会もないので、そのような場を設けてもらえると嬉しい。

○事務局（図書館）

保育園の先生から実際にそのようなお声もいただいており、昨年度は燕こども園に、今年度に入ってから、つばみ保育園にブックコートのかけ方等の修繕方法について紹介した。

今後も相談をいただければスケジュールを合わせて対応していきたい。

○事務局（社会教育課）

今ほどの説明は、図書館の自主事業で個別に相談対応している事業であるが、それとは別に市の取組みとして、昨年、試験的に「図書修繕研修会」を実施した。市内の全園にもお声掛けしたが、主な対象が市内図書ボランティアとなっていたなかで、大変好評であったということもあり、定員がいっぱいになってしまったので、園からの出席は少なかった。

しかし、今ほど委員さんからご説明いただいたような現状も把握しているので、今年度は主な対象を園にも拡大した中で、園の職員が出席しやすい日程を検討して実施していきたい。

○委員

3 ページの新規事業「英語で楽しむお話し会」とあり、期日が「随時」となっているが、年間どのくらいの開催を考えているのか。

また、他の事業だと「大人のための」や「赤ちゃんの」というような言葉が付いている事業もあるが、この事業の主な対象は、どう考えているのか。

○事務局

期日については、新規事業ということもあり、既存のお話し会等のスケジュールを考慮しながら、今後検討していくことになる。

また、対象については、絵本を使ったお話し会になるので基本は子どもを主な対象と考えている。

○事務局

話が戻るが、本のワークショップやBOOKサポーター事業の際には、是非、児童館にも声をかけていただきたい。

○委員

3 ページの「夏休みの巡回子どもおはなし会」は、7 児童館で開催されると書いてあるが、児童館の数に対し、開催数が少ないように感じる。

選定はどのようにしているのか。

○事務局

今年度から児童館に加え、なかまの会や児童クラブも巡回させていただく予定となっている。

○委員

3 ページの「英語で楽しむお話し会」の対象は、小学生とかいう形で具体的にはなっていないのか。

また、英文で書かれたものを英語でお話しすることになると思うが、それを読むのは図書館の職員になるのか。専門のALTが読むようなことではないのか。

○事務局

各図書館で開催している読み聞かせ行事で「絵本の部屋」「おはなしぶんぶん」「おはなしの時間」がある。これらは、保育園から小学校低学年を対象としており、この時間の中で「英語で楽しむお話し会」を併せて開催したいと考えている。

また、読み手であるが、図書館の職員に英語の教員免許を持っているものがあるほか、図書館ボランティアにも英語を教えていた方がいらっしゃるので、まずはそういった人材を活用して開催していきたいと考えている。

○委員

読み物は、日本語の絵本を英訳したものと、もともと英語の絵本とどちらなのか。

○事務局

既に英語の絵本は図書館に蔵書がある。また、その日本語版も蔵書がある。それぞれの英語版と日本語版をまず使って子どもたちの反応を見ながら実施したいと考えている。

○委員

英語の本には、読み聞かせに向いている本とそうではない本がある。そのようなことも考慮して購入していただけると、もっと読み聞かせに活用できると思うので、選書の際にはよろしくお願ひしたい。

○委員

非常に良い取組みと思うが、「英語で楽しむお話し会」のやり方は、定型化されたやり方があるのか。

また、小さな子どもでは英語で話をしても何を言っているのか分からないと思う。そのような時にどのような工夫で実施するのかということになる。

例えば、もも太郎のような誰でも知っている物語を英語でやるとどうなるのか、というように導入の段階で興味を持ってもらえる内容の工夫をしていただきたい。

○事務局

ボランティアの方が読んでくださっているクレヨンの絵本があるが、子どもたちから英語で「イエロー！」や「ブルー！」と返ってくることもある。

事業の細かな内容は今後検討していくことになるが、いただいたご意見も参考にしていきたい。

○委員

7ページの蔵書点検についてだが、実施中にせめて新聞くらいは読めるようにしていただきたい。吉田や分水は公民館が併設されているので、公民館ロビー等を活用して読めるようになると良い。

なお、新潟市の図書館は、蔵書点検中も新聞は読めるようになっている。

○委員

中央公民館ロビーに新聞が置いてあるので、それをもっと周知するという手法もあるかと思う。

○事務局

いただいたご意見を参考に今後検討していきたい。

(4) 燕市立図書館の空調設備等改修工事について

《事務局説明》

○委員

中学校の教諭にとってはとてもありがたい話である。

図書館は、生涯学習において非常に重要なポイントとなる施設である。小学校から高校まで図書館を利用する一連の流れがある中で、施設をより良くしていただくことは、大変喜ばしいことである。吉田や分水も今後同じように検討していただき、市民の読書意欲の推進につなげていただきたい。

○委員

学習室を中央公民館2階に設置するということが、なかなか利用者は大変だと思う。

市民交流センターの3階にも学習室があり、冷房も完備されていて広いので同時に案内していただきたい。

○事務局

今後、検討させていただく。

協議

(1) 燕市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

《事務局説明》

○委員

図書館ボランティアの活動学校数の部分で、分水中学校と小池中学校に常時図書館ボランティアが入っていないという話を聞いたことがある。

そのような学校のボランティア募集やボランティア活動推進についてなにか計画はあるか。

○事務局

中学校はボランティアが入っていない学校が1校あるが、そのような学校に対しては、同じ校区の小学校ボランティアに声掛けを行ったり、地域コーディネーターを通じて地域の方に声掛けを行うことを考えている。

また、学校によっては学校の奉仕活動をPTAの方がしてくださっていることもあるので、そういったところにも声掛けをしていきたい。

○委員

保育園の読み聞かせボランティアを保育園としては大いに活用したいと考えている。

しかし、謝礼や旅費が必要なのかということ、また、燕市のどこからどこまで来てくれるのかということが気になっている。基準等はあるのか。

○事務局

燕市生涯学習人材バンクについてのご質問かと思うので、人材バンクについてお答えさせ

ていただく。

燕市生涯学習人材バンクは、原則、有償ボランティアの範囲内で、市内の技能等をお持ちの方から講師として登録いただいている。具体的には、内規で1時間5,000円を上限とした基準としている。

しかし、現状の登録講師や登録団体で、読み聞かせの登録者については、費用がかかる方の登録はないので、読み聞かせについて言えば無料で利用できる。

次に、講師が行ける範囲についてのご質問であるが、登録している講師には高齢者も多く、移動範囲も限られている方もいらっしゃるが、講師登録リストに項目を設けてそれぞれきさいしてあるので、そちらでご確認いただきたい。

今年度から、団体登録を可能にした中で、各図書館に付随している図書館ボランティアにも読み聞かせボランティアとして登録していただいた。

人材バンクで読み聞かせの利用申請をいただければ、各図書館を通じて各地域の図書館ボランティアにお願いすることができるので、市内全域で無料で利用することができる。

○委員

学校図書館ボランティアとして求める範囲が、保護者に限定してしまっているがために、人数が集めづらい状況になっているのではないかと思う。地域のお年寄りや子どもが好きな方等に範囲を広げて声をかけるべきと思うがいかがか。

○事務局

保護者の方だと人数が限られてしまうので、地域コーディネーターの方に紹介していただいたり、いろいろと手法を検討しながら地域の方にも声をかけさせていただきたいと考えている。

○委員

燕西小でボランティアを募集した時は広報に掲載していた。地域の方に声をかけるのであれば、広報や回覧板も有効だと思うので、是非、活用してほしい。

保護者は、自分の子どもが卒業すると「私も卒業します」という方が多いので、やはり地域の方に入ってもらうことは重要だと思う。

7. その他

○委員

保育園の園長先生の話を知っていると、本が傷んでいてどうして良いか分からないという声を聴く。保育園と幼稚園に少しでも本を増やしていただくことはできないか。

○事務局

子どもたちの本を増やしていこうという取り組みで「カンカンBOOK」「福服BOOK」という事業を行っている。このようなことを積み上げながら園の本を増やしていきたいと考えている。

○事務局

「福服BOOK」は、昨年度までは燕庁舎で回収をしていたが、今年度からは、この庁舎

の駐車場で回収をしているので、是非、広めていただいて活用していただきたい。

○事務局

補足になるが、先程説明させていただいた「図書修繕研修会」は、実際に傷んだ図書を講師から教えてもらいながらその場で修繕する研修会である。当然、研修には傷んだ本が必要になる訳だが、昨年度は、その傷んだ本を声掛けをした中で、つぼみ保育園さんからお借りし、修繕研修会で修繕し、直しきれなかったものは図書館で修繕しお返しした。

つぼみ保育園さんからは、大変喜んでいただいた。

研修会で修繕できる図書数は、保育園の傷んだ本の全数と比べれば微々たるものであるが、こういった取り組みも併せながら対応していきたいと考えている。